


I C T 学習教材コンテンツ活用実践事例

		学校名	県立むつ養護	学校
授業について	教科領域名 (✓又は■で記入する。)	<input type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 算数・数学 <input type="checkbox"/> 理科 <input type="checkbox"/> 外国語・外国語活動 <input type="checkbox"/> 生活 <input type="checkbox"/> 音楽 <input type="checkbox"/> 図画工作・美術 <input type="checkbox"/> 体育・保健体育 <input checked="" type="checkbox"/> 技術・家庭 / 職業・家庭 / 職業 / 家庭 <input type="checkbox"/> 特別の教科 道徳 <input type="checkbox"/> 総合的な学習（探究）の時間 <input type="checkbox"/> 日常生活の指導 <input type="checkbox"/> 生活単元学習 <input type="checkbox"/> 作業学習 <input type="checkbox"/> 遊びの指導 <input type="checkbox"/> 特別活動 <input type="checkbox"/> 自立活動 <input type="checkbox"/> その他（ ）		
	単元(題材)名	働く上で必要な力について考えよう		
	単元(題材)の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・働く上で必要な力について考え、グループで意見を出し合うことができる。 ・グループで出た意見を学級全体で共有し、働く上で必要な力について考え、理解する。 		
学習集団と実態	学部・学年・人数	高等	部	2 年 10 人
	本単元(題材)における学習集団の主な実態	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が考えたことに対する理由や根拠について表現することに難しさを抱えている生徒が多い。 ・自分で考えた意見を学級全体に向けて発表した経験がある。 ・グループに分かれて意見交換をした経験が少ない。 		
I C T 活用について	使用した支援機器・教材の名称	iPad、Apple TV、単焦点プロジェクタ、電子黒板		
	使用したアプリケーションの名称	カメラアプリ		
	主な活用の用途 (✓又は■で記入する。)	(複数選択可能) <input type="checkbox"/> コミュニケーション支援 (<input type="checkbox"/> 意思伝達支援 <input type="checkbox"/> 遠隔コミュニケーション支援) <input checked="" type="checkbox"/> 活動支援 (<input type="checkbox"/> 情報入手支援 <input checked="" type="checkbox"/> 機器操作支援 <input type="checkbox"/> 時間支援) <input checked="" type="checkbox"/> 学習支援 (<input checked="" type="checkbox"/> 教科学習支援 <input type="checkbox"/> 認知発達支援 <input type="checkbox"/> 社会生活支援) <input type="checkbox"/> 実態把握支援		
	I C T 活用のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・ミラーリング機能を活用し、グループ内で出た意見を学級全体で共有できるようにする。 		
活用の状況と支援	<ul style="list-style-type: none"> ○活用場面 <ul style="list-style-type: none"> ・発表資料の提示 ○行った支援 <ul style="list-style-type: none"> ・実際に生徒達の前で教師がタブレット端末を使用し、ミラーリングの手本を示しながら手順を確認した。 ○生徒の様子・変容 <ul style="list-style-type: none"> ・生徒達はワークシートの写真を撮影し、その画像をスムーズにミラーリングして単焦点プロジェクタや電子黒板に映し出すことができていた。 ・一部の生徒は他の授業でも同様の使い方をしているため操作に慣れており、今回も活用できていた。 ・生徒全員が、教師の支援がなくても単焦点プロジェクタ及び電子黒板に画面をミラーリングすることができるようになった。 ○その他（I C T を活用した効果など） <ul style="list-style-type: none"> ・写真や動画を提示しながら発表できるため、聞き手の生徒達にとっては発表内容をより理解しやすくなったと考える。 ・話し手の生徒達にとっては、相手に伝わるように資料を拡大して提示するなど、効果的なプレゼンテーションについて考える機会にもなった。 			

